



2023年10月1日
10月第一主日礼拝式
＜教団創立記念日／献身者デー＞

「さあ手を打ち鳴らし」

(詩篇47:1 ネヘミヤ8:10)

さあ手をうちならし 主のみまえに行こう

この日は聖なる日 この日は聖なる日
主のみまえに行こう

天地を造られた 主のみまえで歌おう

この日は聖なる日 この日は聖なる日
主のみまえで歌おう

19 ホザナ

1. ホザナ ホザナ ホザナ たからかに
ホザナ ホザナ ホザナ たからかに
主よあなたのみ名あがめます
さんびにみたされて ホザナたからかに
2. ホザナ ホザナ ホザナ 主のみ名を
ホザナ ホザナ ホザナ 主のみ名を
ほめたたえようこころみたされ
さんびにみちあふれ ホザナ主のみ名を

新聖歌201番 「イエスはわがいのち」

- 1 イエスはわがいのち また喜び すべてののすべてぞ
われにとりて 悲しめるときは なぐさめ励ます
世(よ)にただ ひとりの友ぞ
 - 2 イエスは火のごとき ころみにも 勝たせて恵みを
さらにたまう 日々なすわざをば 祝して実りを
豊かにしたもう 友ぞ
 - 3 イエスはかくわれに まことなるを 忘れまつる日の
などあるべき みむねをかしこみ みわざを励みて
日も夜(よ)も したがい つかえん
 - 4 イエスは誰(たれ)よりも まさる友ぞ よに生きるかぎり
われはたよらん よを去りてのちも とこしなえまでも
変わらぬ愛もて たよらん
- アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌46番 「わが主よ 今ここにて」

- 1 わが主よ 今ここにて 親しく見^(まみ)えまつり
限りなき幸いを 受くるこそ うれしけれ
- 2 恵みの足^(た)れる時よ いのちの充^(み)てるおりよ
今しばし 留^(とど)まれや 主と共に われ過ごさん
- 3 ここには贖^(あがな)いあり ここには慰めあり
わが汚れ きよめられ み力は満ちあふる
- 4 面影^(おもかげ)うつししのぶ 今日だに かくもあるを
みくににて祝う日の その幸^(さち)や いかにあらん
アーメン

新聖歌98番 「 緑(みどり)も深き 」

- 1 みどりも深き 若葉の里 ナザレの村よ
汝(な)がちまたを 心きよらに 行き交いつつ
育(そだ)ちたまいし 人を知るや
- 2 その頭(こうべ)には 冠(かむり)もなく その衣には
飾りもなく 人の住まいを ととのえつつ
主は若き日を 過ぎたまえり
- 3 人の子イエスよ きみの御名を み使いたちの
ほむる時に 恵みに匂(にお)い 愛に香(かお)る
み足の跡(あと)を われは辿(たど)らん

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン